

次第

■挨拶

■第一部 障害者雇用貢献事業者への感謝状贈呈式

障害のある方の雇用促進に取り組み、その功績が特に顕著である事業者の皆様へ感謝状を贈呈し、その顕著な取り組みを広く一般にご紹介し、市民の皆様の障害に対する理解を深めていただくとともに、障害のある方の雇用の創出・拡大を図ることを目的に平成21年度から実施しているものです。

今年度は、4事業者の皆様を市長感謝状贈呈事業者として決定いたしました。本日はその取り組みについてご紹介させていただきます。

また、仙台市ホームページ、仙台商工会議所月報「飛翔」平成31年3月号、平成31年度版ふれあいガイドへ掲載するなど、今後も様々な機会を通じて周知してまいります。

■第二部 記念講演会

「エイベックス株式会社における障害者雇用の取り組み」

エイベックス株式会社は、国内の音楽業界を代表する企業として数多くのアーティストをプロデュースするだけでなく、映像やデジタル分野など、様々なエンタテインメントを提供しています。障害者雇用に関しては、サテライトオフィスを活用した雇用や、障害者アスリート雇用など、先進的な雇用体制を取られています。

その方針や取り組みにつきまして、チャレンジド・アスリート推進ユニットマネージャーの小日向 一郎さんよりご講演頂きます。



平成30年度 障害者雇用貢献事業者の皆さま (五十音順・敬称略)

株式会社アイエーオートボックス



設立 2018年1月11日
代表者 代表取締役社長 荒井 宏貴
事業内容 小売業（カー用品販売・車販売・車検販売等）
障害のある方の雇用状況
精神障害者4名・知的障害者2名

「5者間連携」でともに支援する

アイエーオートボックスは宮城、秋田で計15店舗のカー用品総合専門店を運営しています。就労定着には必要不可欠との考えのもと、本人、企業、家族、学校・支援機関、行政の「5者間連携」により障害者雇用を進めています。それぞれの立場から情報共有することで、仕事面だけでなく生活面でのフォロー体制もでき、安定した雇用に繋がります。連携の中心には、積極的に関係機関とつながりをつくっていく障害者雇用担当者の熱意があります。

自己成長を目指すことができる職場

上司と部下のような上下関係ではなく、人と人との人間関係を大切に社風から、社内には心地よい空気が流れています。障害のある方は職場に慣れるまで、担当業務の先輩社員と交換日記形式で日々の出来事を共有します。さらに定期的に店舗責任者と面談も行うことで、困りごとや不安を早期に解決することができ、また、本人の希望をこまめに聞き取ること、働く意欲や力を養い、自己成長を目指した働き方ができるようサポートしています。

株式会社仙台食品運輸



設立 1971年1月27日
代表者 代表取締役 阿部 七七男
事業内容 道路貨物運輸業
障害のある方の雇用状況
身体障害者1名・精神障害者2名

こまめにコミュニケーション

仙台食品運輸は主に冷凍・冷蔵車による食材運送を行っています。運送を担うドライバーやその管理担当者は、365日、24時間体制で交代勤務している方もいます。そのような環境の中、コミュニケーションをこまめにする事を重要視し、日々実践しています。何気ない会話の中から本人の体調の変化にいち早く気づき、通院を促すなどの対応を迅速にとることができています。

得意分野を伸ばす業務分担

精神障害のある方に対しては、意向を確認の上、苦手とする電話対応等の業務は担当しないよう配慮する一方で、得意とする業務に関しては最大限に力を発揮できるよう工夫しています。人の出入りの少ない場所に座席を配置したり、担当業務の確認をスムーズに取れるよう隣の席に先輩社員を配置したりと、業務に集中し効率的に取り組むことのできる環境を整備しています。そのお陰で、本人は得意分野に磨きをかけ、現在は会社の重要な戦力として他の社員からも頼りにされる存在になっています。

株式会社仙台三越



設立 2009年10月1日
代表者 代表取締役社長 渡辺 憲一
事業内容 小売業（百貨店事業）
障害のある方の雇用状況
身体障害者8名・精神障害者1名
知的障害者3名

福祉のまちづくりへの貢献

百貨店の仙台三越は、昭和46年に全国に先駆けて車いす対応トイレを設置する等、障害のある方もない方も共に暮らしやすいまちづくりにいち早く取り組み始めました。そういった方針は現在も変わらず、雇用に関しては労働条件や賃金形態、福利厚生について障害の有無に関わらず平等です。

支援学校との連携

平成24年より特別支援学校からの職場実習を受け入れ、入社前に強みや弱みを把握し本人の希望も踏まえた上で配属先を決めます。配属先は、障害特性等の理解を深めた上で迎え入れることができます。入社後も支援学校と連携を密に取り、定期的なサポートを受けながら職場定着へと繋げています。

新たな採用枠の創設

立ち仕事の多い従業員のために、市内の就労継続支援B型事業所へ指圧マッサージの役務を発注していましたが、好評を得たことから、ヘルスキーパーとしての採用枠を創設。当該事業所の利用者は仙台三越への採用が決まり、ステップアップしました。障害者雇用担当の会社への働きかけにより、障害のある方がいきいきと働ける環境が、また一つ増えました。

パーソルチャレンジ株式会社 受託サービス事業部仙台グループ



設立 2008年1月 (2017年6月に株式会社フロンティアチャレンジから社名変更)
代表者 マネジャー 瀬川 由美
事業内容 人材派遣業
障害のある方の雇用状況
身体障害者14名・精神障害者22名
知的障害者2名

メンタルの状態見える化し 不安を未然に取り除く

パーソルチャレンジはパーソルホールディングスの特例子会社としてグループ内の様々な業務を受託しており、特に精神・発達障害のある方の雇用管理に注力しています。日々のコミュニケーションや個別面談を通して、本人の睡眠の様子や作業の正確性等からなる17の分類項目について管理者が把握、評価し、メンタルの状態見える化します。これにより状態が悪化する前に原因となっている不安を早期に発見し取り除くことができ、就労定着率や生産性向上につながっています。障害のある方は、心身ともに健康的に、向上心をもちながら働いています。

自社内にとどまらない 障害者雇用促進への貢献

宮城県や仙台市が主催する障害者雇用に関するセミナーの講師を務め、雇用管理や採用時のポイント等を広く伝えています。また、会社独自でも企業や支援者向けのセミナーを開催しています。パーソルチャレンジの障害者雇用に関するノウハウは、他企業や支援者の参考とされ、障害者雇用の促進に広く貢献しています。

